

大ごみ収集日変更について。
4月～11月の第1金曜日に変更。受付は西天・業者へ。

議事②財政調整基金について。

条例第2条で基金の額が1億円と明記されており、今後の最終処分場かさ上げ工事費の増加が見込まれることから、基金の増額を検討し、8月議会で改正する予定。

議事③動物焼却炉の停止
新動物焼却炉への切替えによる動物焼却炉の停止。

第1回 まちづくり常任委員会

1月16日

・調査事項（抜粋）

(1)大型建設事業の実施に伴う今後の財政推計について

11月のまちづくり常任委員会にて、義務教育学校と多世代交流施設を建設した場合の今後の財政シミュレーション提示を求めている。財政シミュレーションの

結果、今までどおりの財政運営をした場合、令和7年度末に約65億円ある基金は、令和12年度には底をつく。

また、令和13年度以降、基金不足により単年度収支が赤字となり、現状のままでは予算が組めない状況。

ただし、行政改革などで歳出を絞ることで少しは改善の余地があるとの説明があった。

(2)総務企画課所管

①幌延町多世代交流施設整備事業基本計画・基本設計業務の進捗状況について

建築費高騰を受け、14億円の見込みでは収まらなくなった。財政への影響が大きいため、令和7年度中の計画策定は諦め、令和8年度までかけて内容を縮小・見直す。

②「創生会議」にはこれまで何回説明してきたのか。今後どういう流れで意見を反映させるのか。

③基本構想の段階では意見を聞いたが、「基本計画」については、町としての案が固まっているため、開催していない。町が案を作

って議会に諮り、創生会議に諮ってからパブリックコメントを行い、計画策定となるため時間はかかる。

④学校も交流施設も、両方やるのは財政的に無理ではないか。どちらかを先送りにすべきではないか。

⑤課題が非常に大きいのは承知している。今の大きなスケールの計画からどこを削り、どこを残すか、率直な意見があれば判断がしやすい。

⑥風呂の既存ボイラーが壊れたら、直すのに相当な費用がかかるのではないかと。ボイラーは取り換えないとならないが、新設計画があるので、今は更新を止めている。新設が遅れるなら既存施設のボイラーだけでも新しくしたいが、試算はしていない。

⑦株式会社ユーラスエナジーホールディングスによる地域貢献について

道北風力発電事業の全6か所が令和7年2月に運転を開始したことに伴い、風車が立地する稚内市、豊富町、幌延町の3市町に対し

運転期間を通じた地域共生施策が実施される。

幌延町における主な内容は、新生児1人につき5万円分の商品券を贈呈する

「出生祝い」、生涯学習センター等への「図書寄贈」

問寒別小中学校への「エアコン設置」である。

出生祝いと図書寄贈については、次年度以降も継続される見通しで、これらに加え、各種イベントへの協賛やその他の物品支援など町のニーズに合わせた追加施策についても同社と協議する。

第2回

まちづくり常任委員会

2月17日

・調査事項

(1)大型建設事業に係る町執行部の考えについて

交付金などの歳入が不透明な中、小中一貫校整備と多世代交流施設整備を並行すれば、4年後には基金が底をつく。まず小中一貫校整備事業に着手し、多世代

交流施設は財政の見極めがついた段階で実施の是非を判断する。

小中一貫校整備はコスト抑制のため、メディアライブラリーの規模縮小、給食センターの既存施設利用、

武道場の中止、ステージ機能を体育館へ移設、電気室等の集約、運動スペース確保のために、中庭部分にプレイルームを増築、太陽光パネルを野立てを行う。

設計変更後の事業費は約58.3億円。見直しをせず実施する場合は約77.1億円となる。

⑦風呂は寿命で限界。今のボイラーが壊れたらどうするのか、優先順位が違うのでは。

⑧町民に迷惑をかけない運営を継続する。

第3回

まちづくり常任委員会

3月2日

・調査事項（抜粋）

(1)総務企画課所管

②幌延町民営賃貸住宅建設